

新任教員

ごあいさつ

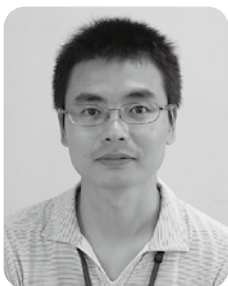


一般教科 吉井 豊

私は高校3年生までの19年間で、漁業の町である静岡県焼津市で過ごし、千葉大学理学部数学・情報数学科に入学してから今年の3月までの11年間は、学生、大学院生、博士研究員としてずっと千葉で過ごしました。そして今年の4月から、本校の一般教科の数学教員として赴任いたしました。昨年は、大学や予備校で非常勤講師の仕事をしながらかつ研究や就職活動を行うという不安定で先の見えない生活を送っていたこともあ

り、今回私に仕事の機会を与えてくださった本校にはただただ感謝するばかりです。

さて、本校に赴任してからすでに2か月が過ぎました。中間試験も終了し、授業についてはかなり慣れてきましたが、私にとってはクラブ顧問、寮務委員やその他の学校行事などまだまだ未知の業務が多いのが現状です。今後も一歩一歩着実に職務を果たしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



一般教科 稲田 直久

はじめまして、一般教科(物理)の教員に着任致しました稲田直久と申します。数年前に大学院の博士課程を修了して以来、大学、あるいは研究所(いずれも東京近郊)の研究員として渡り歩いてきましたが、ご縁がありまして、2011年4月1日より奈良高専にてお世話になることになりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

これまで研究をすることが主な仕事で、講義や校務には慣れないことが多いのですが、少しでも良い授業、少

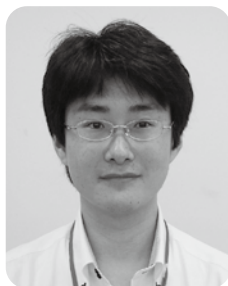
しでも学生の皆さんの役に立つ指導を行えるよう、あらゆることに全力で取り組んでいきたいと思っております。また、担当する科目は物理全般になりますが、大学院在学時より、天文学、特に、実際に望遠鏡を用いて観測する「観測天文学」を専門としており、本科、ならびに専攻科の学生の皆さんに対して、(物理の講義に加えて)夢のある“天文学の研究”の話もしていければと思っております。よろしくお願いいたします。



情報工学科 井上 一成

二十余年にわたる企業生活にピリオドを打ち、本年4月奈良高専情報工学科に着任しました。会社では社内に限らず、社外企業や官庁関連機関、大学など複数の研究者・技術者によってチームを編成し、基礎研究から応用、更には産業界への技術移転まで幅広く手掛けて参りました。特に米国企業とは深い関わりがあり、このチームによる研究開発から海外へ向けた技術発信というスタイルは今後も是非継続してゆきたいと考えています。翻って、人生もそろそろ夕暮れ時に差し掛かるようになり

ました自分が、この先果たしてどのくらいの価値を創造し、提供が出来るのだろうかと問いましたところ、これまでの経験を活かしつつ、今後のICT技術者の育成・指導、グローバル社会で活躍する人材の輩出などがその答えとして湧き上がってきました。「教育」は私にとりまして新たな挑戦となります。新任地奈良高専での教育職は身に余る重責ではありますが、一意専心業務に精進し取り組んでゆく所存でございますのでどうぞよろしくお願いいたします。



情報工学科 岩田 大志

この4月に私にとっては母校でもあり、現在の職場でもある、本学情報工学科に赴任して3ヶ月が経ち、少しは授業やその準備、研究なども軌道に乗ってきたと感じています。4月当初はもう無我夢中という感じでしたが、ようやく学生たちの顔も覚え始める余裕が出てきました。今年度は、私が担当する科目はそう多くありませんが、私が学生の頃から変わらず、「クラスの雰囲気」が色々あって面白いなあと感じています。静かで真面目なクラ

ス、騒がしいけど明るいクラス、勉強できる学生が他の学生を教えるみんなで勉強するクラスなど、高専のクラスは色々な人材が集まって、そのクラス特有の色が出る人が多いように思います。これは5年間同じクラスで過ごすため、仲の良い友人が得意な環境によるものだと思います。高専での友人は長期間にわたり楽しく過ごせる仲間となりますので、私も微力ながら、高専生活を楽しく過ごせるようサポートしていきたいと考えています。

人事交流

一般教科 青山 歓生

私は、高専間人事交流でこの4月から和歌山高専より赴任いたしました。

私は、生まれも和歌山で、和歌山高専にも10数年勤務しております、かれこれ30年以上和歌山に住んでいます。

赴任する前は、奈良と和歌山はお隣同士、都会と田舎の違いがあるとはいえ、同じような感じなのかなと思っていました。まだ3か月ですが、最近はいろいろと違うところも感じられます。例えば、奈良の教職員の皆さんも学生さんたちも、人当たりがとても穏やかな感じがします。

学校の運営も和歌山とは違うところがあります。細かいことですが、和歌山高専では学科名が「A,B,C,D」と単にアルファベット順になっています。このように、同じ学校にずっといると、空気のように当たり前になっていることが結構あるのだなと思直しています。

違うところに感心したり戸惑ったりする度に、学校の制度や運営の在り方について、あれやこれやと考え直しますので、自分自身とてもいい勉強になっていると感じています。

人事交流における体験を活かして、奈良高専と和歌山高専の教育の向上に少しでもお役に立てればと思っております。

今年は、6月下旬から猛暑ですが、これからも皆様と元気に仲良く頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。